

# 日本人・日本文化論 文献リスト

黒住 眞

〔凡例〕

- 一、日本人論・日本文化論に関わる文献を、管見・各種の参考文献等によって適宜採録した。
- 二、文献は目次のように分類し、I類は、内容別に時間順に配列、II以下は各々を〈著書・論文〉と〈編著・論集等〉に二分の上、Authorの五十音順に配列した。分類は大体の目安である(例えば、文化人類学、社会心理学は主としてIIに、神話学はIIIに入れてゐる)。
- 三、Authorの下、書名の上の洋数字は、発行年(西暦)を示す。ただし千・百位の19は省略し、十九世紀のもののみ百位に8を加えた。
- 四、発行所名は、叢書名から類推できるものはこれを省略した(例、NHKブックス↓日本放送出版協会。現代のエスプリ↓至文堂。現代新書、学術文庫↓講談社)。また略記したものもある(例、日経新聞社↓日本経済新聞社。NHK↓日本放送出版協会)。
- 五、このリストは、網羅性をもつものではなく、とくに、(1)外国人による日本論、(2)思想史等の個別研究は原則として含まない。他日を期したいと思う。

〔目次〕

I	目録、辞典、調査記録	43
II	一般	
	〈著書・論文〉	44
	〈編著・論集・シンポジウム〉	50
III	古代・神話・起源	
	〈著書・論文〉	52
	〈編著・論集・シンポジウム〉	54
IV	精神医学・臨床心理	
	〈著書・論文〉	55
	〈編著・論集〉	57
V	戦前(1868~1945)の文献	57

I 目録、辞典、調査記録

(文献目録)

日本学術会議 63 『日本人の性格研究』へ日本学術会議、文科系  
文献目録第15篇』

森口兼二、浜口恵俊 64 『日本文化研究の展望と文献リスト』

『思想の科学』 4月、25号

野村総合研究所編 78 『日本人論』へN R I レファレンスNo.2

野村総合研究所

佐治芳雄 80 『邦訳日本研究文献解題』宗高書房

71 『日本論・日本人論についての重要文献リスト』

『近代経営』19—7

(事典)

大島建彦、大森志郎、後藤淑、斎藤正二、村武精一、吉田光邦編

71 『日本を知る事典』社会思想社(79 『日本を知

る小辞典』全六冊、〈現代教養文庫〉)

加藤秀俊、開高健、小松左京、星新一 68 『にっぽん人間関

係用語辞典』『エナジー』4月号、5—2(再録

↓浜口恵俊編82)

南博編 80 『日本人の人間関係事典』講談社

(調査記録)

出井弘一、黒川真行、時田寛文 73 『日本人の選好度』至誠堂

経済企画庁国民生活局 76 『国民生活選好度調査—人々の求めて

いるものは何か』

77 ↓総理府

78 『日本人の教育観と職業観』(経済企画庁)

国民生活センター 73 『日本人の生活意識』至誠堂

75 『生活意識に関する研究』(二冊) 至誠堂

78 『変動期における生活意識と行動』金子書房

国民選好度調査委員会 72 『日本人の満足度—国民選好度予備

調査』至誠堂

職業研究所 79 『日本人の職業経歴と職業観』至誠堂

千石保、遠山敦子 73 『比較日本人論』小学館(総理府、世界

青少年価値調査による)

総理府内閣総理大臣官房審議室、経済企画庁国民生活局 77 『ラ

イフサイクルと暮らしの質』

総理府青少年対策本部 78 『世界の青年との比較からみた日本の

青年』へ世界青年意識調査(第二回)結果報告書』

総理府 81 『国際比較—日本の子供と母親』へ国際児童

年記念調査最終報告書』

統計数理研究所 61 『日本人の国民性』至誠堂

70 『第2・日本人の国民性』至誠堂

75 『第3・日本人の国民性』至誠堂

日本人研究会 76 『日本人研究』(No.1) 至誠堂

日本地域開発センター 70 『日本人の価値観』至誠堂

NHK総合放送文化研究所 73 『日本人の関心領域』至誠堂

NHK放送世論調査所 75 『日本人の意識—NHKの世論調

査』至誠堂

75 『図説・戦後世論史』NHK

79 『日本人の職業観』NHK

81 『日本人の健康観』NHK

日本文化会議 73 『日本人の法意識』至誠堂

日本リサーチ総合研究所 78 『日本人のクオリティ・オブ・ライフ』至誠堂

林 知己夫 73 『比較日本人論——日本とハワイの調査から』中央公論社

毎日新聞社 77 『読書世論調査30年——戦後日本人の心の軌跡』毎日新聞社

余暇開発センター 78 『人と社会に関する総合研究』労働大臣官房統計局情報部 74 『日本人の勤労観』至誠堂

## II 一般

### △著書・論文▽

相 沢 久 76 『日本人論のために』〈潮新書〉

青 柳 文 雄 80 『日本人の罪と罰』第一法規

荒 木 博 之 73 『日本人の行動様式』〈現代新書320〉

76 『日本人の心情論理』〈現代新書438〉

83 『敬語日本人論』PHP研究所

有賀喜左衛門 65 『日本の家族』至文堂

IV、未来社 67 『公私の観念と日本社会の構造』『有賀著作集』

72 『日本の社会構造と日本人の考え方』『国学院大学日本文化研究所紀要』30

安 津 素 彦 76 『一つの日本文化論』未来社

飯 塚 浩 二 52 『日本の精神的風土』〈岩波新書〉

池 田 雅 之 83 『日本人論の系譜』『諸君』2月号

池 田 弥 三 郎 80 『日本人の心の傾き』文芸春秋社

池 田 昭 74 『日本の精神構造論序説』勁草書房

生 松 敬 三 65 『思想史の道標』勁草書房

75 『日本文化への一視角』未来社

石 井 紫 郎 66 『日本国制史研究』東大出版会

石 田 英 一 郎 56 『桃太郎の母』法政大出版局(72講談社文庫)

65 『東西抄——日本・西洋・人間——』筑摩書房

69 『日本文化論』筑摩書房

70 『人間と文化の探求』文芸春秋社

板 坂 元 71 『日本人の論理構造』〈現代新書258〉

伊 藤 整 53 『近代日本人の発想の諸形式』『思想』344・345

(81 岩波文庫)

稻 富 栄 次 郎 62 『日本人の自然観とその文化』全日本社会教育

連合

63 『日本人の自我意識について』全日本社会教育

連合

井 上 忠 司 63 『日本人と日本文化』理想社

77 『世間体』の構造——社会心理史への試み』

〈NHKブックス〉

82 『まなざしの人間関係——視線の作法』〈現代新書641〉

井 上 充 夫 69 『日本建築の空間』鹿島出版会

岩 間 龍 子 77 『日本の経営の編成原理』文真堂

上 山 春 平 71 『日本の思想——土着と欧化の系譜』サイマル

出版

72 ↓ 梅原猛

80 『日本の国家像』NHK

牛島義友 61 『西欧と日本人間形成』金子書房

梅棹忠夫 67 『文明の生態史観』中央公論社(74 中公文庫)

梅原 猛 67 『地獄の思想——日本精神の一系譜』(中公新書)

67 『美と宗教の発見——創造的日本文化論』筑摩書房(76 講談社文庫)

76 『日本文化論』(学術文庫22)

梅原 猛・上山春平 72 『日本学事始』小学館

岡田 晋 72 『日本人のイメージ構造』(中公新書)

大木雅夫 83 『日本人の法観念——西洋的法観念との比較』

東大出版会

大塚久雄 76 ↓ IV土居健郎

岡崎公良 81 『日本のこころ』の深層心理』新樹社

小倉 朗 77 『日本の耳』(岩波新書)

貝塚茂樹 65 『日本と日本人』文芸春秋社

加藤周一 56 『雑種文化——日本の小さな希望』講談社

76 『日本人とは何か』(学術文庫51)

加藤周一、M・ライシュ、R・J・リフトン 77 『日本人の死生観』(上・下) (岩波新書)

金子光晴 72 『日本人について』(増補版) 春秋社

神島二郎 61 『近代日本の精神構造』岩波書店

65 『日本人の結婚観』筑摩書房(77 学術文庫20)

71 『文明の考現学——(原日本)を求めて』東大出版会

74 『日本の近代化——馴成単一社会の理論』神島編74 『近代化の精神構造』評論社

75 『日本人の発想』(現代新書40)

亀井勝一郎 56 『日本人の典型』角川書店

67 『日本人の精神史』(全6) 文芸春秋社(74 講談社文庫)

68 『日本人の美と信仰』大和書房

蒲生正男 60 『日本人の生活構造論序説』評信書房(増訂、78 ぺりかん社)

唐木順一 65 『日本の心』筑摩書房

70 『日本人の心の歴史』(上・下) 筑摩書房

72 『日本人の心の歴史・補遺』筑摩書房

川島武宜 50 『日本社会の家族的構成』日本評論社

63 『イデオロギーとしての家族制度』岩波書店

67 『日本人の法意識』(岩波新書)

76 ↓ IV土居健郎

河竹登志夫 82 『舞台の奥の日本——日本人の美意識』TBSブリタニカ

岸田国士 48 『日本人とは何か』養徳社(86 『日本人奇型説』

評論社)

きだみのる 58 『日本文化の根底に潜むもの』講談社

67 『にっぽん部落』(岩波新書)

喜多川忠一 83 『日本人を考える——国民性の伝統と形成』N

H K

北森嘉蔵 72 『日本人の心とキリスト教』読売新聞社

吉川英史 48 『日本音楽の性格』わんや書店(79音楽之友社)

木村 駿 82 『日本人の対人恐怖』(社会心理学選書2)勁草書房

草書房

小島美子 82 『日本音楽の古層』春秋社

今野敏彦 81 『見えざるころろ——脱差別論への試み』マルジュ社

ジュ社

斎藤正二 83 『新編偏見の文化』新泉社

72 『「やまとだまし」の文化史』(現代新書269) 78 『日本の自然観の研究』(上・下)八坂書房

坂本 堯 73 『カトリックと日本人』(現代新書338)

相良 亨 64 『日本人の伝統的倫理観』理想社

80 『誠実と日本人』べりかん社

向坂 寛 80 『和の構造』北樹出版

82 『恥の構造——日本文化の深層』(現代新書658)

作田啓一 67 『恥の文化再考』筑摩書房

72 『価値の社会学』岩波書店

桜井庄太郎 61 『恩と義理——社会学的研究』アサヒ社

68 『義理人情の歴史』『エナジー』X2 エッソ・スタンダード

71 『名誉と恥辱』法政大出版局

桜井徳太郎 77 『靈魂綱の系譜』筑摩書房

82 『日本民間信仰論(増訂版)』弘文堂

桜井好朗 70 『中世日本人の思维と表現』未来社

74 『中世日本の精神的景観』塙書房

81 『中世日本文化の形成——神話と歴史叙述』東大出版会

大出版会

佐藤忠男 58 『裸の日本人——判官びいきの民族心理』光文社(71評論社)

76 『日本人の心情』三一書房

篠田 統 61 『米と日本人』角川書店

清水幾太郎 53 『日本人』要書房

白石昭臣 77 『日本人と祖霊信仰』雄山閣

杉本重夫、ロス・マロア 82 『日本人は「日本的」か』東洋経済新報社

新報社

82 『日本人論に関する12章』学陽書房

鈴木修次 78 『漢語と日本人』みすず書房

鈴木二郎、隅谷三喜男、宮崎敏樹編 78 『日本と朝鮮を考える』二月社

二月社

鈴木孝夫 68 『日本語の自称詞と対称詞』『エナジー』17(梅棹他編72 『日本文化と世界』現代新書280)

75 『閉ざされた言語・日本語の社会』新潮社

75 『閉ざされた言語・日本語の社会』新潮社

鈴木秀夫 75 『風土の構造』大明堂

76 『超越者と風土』大明堂

78 『森林の思考・砂漠の思考』NHK

鈴木満男 67 『日本文化論と現代人類学——『菊と刀』の方

法をめぐって』思想』12月号

74 『マレビトの構造——東アジア比較民俗学研

究』三一書房

住谷一彦 82 『日本の意識——思想における人間の研究』

岩波書店

隅谷三喜男 ↓鈴木二郎

世良正利 63 『日本人のパーソナリティ』紀伊国屋書店

65 『日本人の心』(NHKブックス)

千石保 74 『日本人の人間観——欧米人との違いをさぐる』日本経済新聞社

高取正男 75 『日本の思考の原型——民俗学の視角』(現代新書406)

新書406

滝沢克己 73 『日本人の精神構造——イザヤ・ベンダサンの批評に答えて』三一書房(82改題)——西田哲学の示唆するもの』)

学

竹下敬次 76 『鬼火——怨念の系譜』以文社

武田清子 78 『天皇観の相剋——一九四五年前後』岩波書店

竹田聰洲 57 『祖先崇拜』平楽寺書店

76 『日本人の「家」と宗教』評論社

田崎篤郎 80 『意識調査から見た日本の対人関係』『現代社会学』13号、7—1

82 『社会心理学からみた日本人論』『サイコロジ』22、1月号

多田道太郎 72 『しぐさの日本文化』筑摩書房(78角川文庫)

立川昭二 76 『日本人の病歴』(中公新書)

千葉徳爾 72 『切腹の話——日本人はなぜハラを切るか』(現代新書28)

代新書28

築島謙三 70 ↓依田新

77 『日本人を考える——比較心理の立場で』大日本図書

筑波常治 69 『米食・肉食の文明』NHK

津田左右吉 48 『日本人の思想的態度』中央公論社

角田忠信 78 『日本人の脳——脳の働きと東西の文化』大修館書店

坪井洋文 79 『イモと日本人——民俗文化論の課題』未来社

82 『稻を選んだ日本人——民俗的思考の世界』未来社

鶴見和子 72 『好奇心と日本人——多重構造社会の理論』岩波書店

77 『漂泊と定住と——柳田国男の社会変動論』筑摩書房

鶴見俊輔、安田武 83 『忠臣蔵と四谷怪談——日本人のコミュニケーション』(朝日選書)

中井正一 50 『日本の美』宝文館(75朝日選書)

中西進 78 『日本人の愛の歴史——古典の主人公たち』(角川選書)

中根千枝 67 『タテ社会の人間関係——単一社会の理論』(現代新書105)

代新書105

72 『適応の条件』(現代新書300)

77 『家族を中心とした人間関係』(学術文庫101)

78 『タテ社会の力学』(現代新書500)

中山茂 77 『日本人の科学観』創元社

中村元 49 『東洋人の思维方法』みすず書房(62『同』3)

春秋社)

西 義之 83 『菊と刀と日本人』 P H P 研究所

西田耕三 82 『日本社会と日本経営』 文真堂

仁戸田三郎 73 『タテマエとホンネ』 ダイアモンド社

73 『日本の宗教意識の本質』 教文館

80 『続・タテマエとホンネ』 ダイアモンド社

芳賀 綏 79 『日本人の表現心理』 中央公論社

橋本峰雄 75 『うき世』の思想』〈現代新書396〉

長谷川如是閑 50 『日本人気質』 御茶の水書房

浜口 恵俊 77 『日本らしさ』の再発見』 日経新聞社

80 『日本社会論のパラダイム更新を目指して』  
『現代社会学』13号、7-1

82 『日本人の人間モデル』『理想』82、1月号

林 知己夫 79 『日本人の意識はどう変わったか』『朝日ジャーナル』21-32

82 『間人主義の社会・日本』 東洋経済新報社

林知己夫、米沢 弘 82 『日本人の深層意識』〈NHKボックス〉

林 房雄、三島由紀夫 66 『対話』 日本人論』 番町書房

樋口 忠彦 81 『日本の景観——ふるさと』の原型』 春秋社

久枝 浩平 76 『契約の社会・默契の社会』 日経新聞社

檜谷 昭彦 78 『日本人と嘘』 K K ロングセラーズ

平川 祐弘 76 『和魂洋才の系譜』 河出書房

77 『イソップ物語・比較倫理の試み』(前・後)  
『諸君』4・5月

深作 光貞 71 『日本文化および日本人論』三一書房

藤田省三 66 『天皇制国家の支配原理』 未来社

82 『精神史的考察』〈平凡選書〉

古川 哲史 68 『夢——日本人の精神史』 有信堂

74 『日本的求道心』 理想社

古川 義高 78 『日本人の心のルーツ』 共栄書房

堀 一 郎 71 『日本のシャーマニズム』〈現代新書256〉

牧 田 茂 72 『神と祭り』と日本人』〈現代新書302〉

増田 義郎 67 『純粹文化の条件——日本文化は衝撃にどうたえたか』〈現代新書119〉

丸山 真男 52 『日本政治思想史研究』 東大出版会

57 『現代政治の思想と行動』 未来社 (64増補版)  
未来社)

61 『日本の思想』〈岩波新書〉

72 『歴史意識の『古層』・『歴史思想集』〈日本の思想6〉 筑摩書房

76 『戦中と戦後の間』みすず書房

65 『現代日本人の精神構造』 弘文堂

71 『現代日本人の心情と論理』 筑摩書房

78 『近代日本の心情の歴史』〈学術文庫249〉

76 『公と私』 未来社

53 『日本人の心理』〈岩波新書〉

80 『日本人論の系譜』〈現代新書597〉

83 『日本の自我』〈岩波新書〉

69 『義理と人情』〈中央新書〉

66 ↓ 林 房雄

三島由紀夫 66 ↓ 林 房雄

宮川 澄 76 『日本における近代的所有権意識の変遷』青木書店

宮城 音弥 69 『日本人の性格——県民性と歴史的人物』朝日新聞社

72 『日本人とは何か』朝日新聞社

宮崎 敏樹 ↓ 鈴木二郎

宮本 常一 81 『日本文化の形成』(全3)そしえて

村岡 典嗣 62 『国民性の研究』創文社

村上 陽一郎 80 『日本人と近代科学』新曜社

村松 剛 75 『死の日本文学史』新潮社(81角川文庫)

森 有正 71 『経験と思想 I—3』『思想』568号、10月

森三樹三郎 71 『名』と『恥』の文化——中国人と日本人』

〈現代新書21〉

安田 三郎 74 『統・義理について』『現代社会学』一一二

安田 武 83 『日本社会論の展望』『現代社会学』七一

安永 寿延 76 『日本における「公」と「私」』日経新聞社

柳田 国男 83 『柳田国男文化論集』〈叢書名著の復興〉新泉社

山折 哲雄 76 『日本人の靈魂観』河出書房

79 『靈と肉』東大出版会

80 『日本宗教文化の構造と祖型』東大出版会

82 『日本人の心情』〈NHKブックス〉

山村 賢明 71 『日本人と母——文化としての母の觀念についての研究』東洋館出版

山本 健吉 79 『詩の自覚の歴史——遠き世の詩人たち』筑摩

書房

81 『いのちとかたち——日本美の源を探る』新潮社

山本七平 (イザヤ・ベンダサン) 70 『日本人とユダヤ人』山本書店(71角川文庫)

72 『日本教について』文芸春秋社(75文春文庫)

76 『日本教徒——その開祖と現代知識人』角川書店(80角川文庫)

78 『日本人の人生観』〈學術文庫〉

山本七平、岸田 秀 80 『日本人と「日本病」について』文芸春秋社

77 『身体——東洋的身体論の試み』創文社

湯浅 泰雄 81 『日本人の宗教意識』名著刊行会

82 『東洋文化の深層——心理学と倫理学の間』名著刊行会

著刊行会

吉川 幸次郎 61 『日本の心情』新潮社

吉野 裕子 83 『日本人の死生観』〈現代新書675〉

吉村 貞司 80 『原日本の発見』理想社

吉本 隆明 68 『共同幻想論』河出書房(82改訂新版、角川文庫)

依田 新、築島謙三 70 『日本人の性格』朝倉書店

米 沢 弘 80 『日本人の関心の構造』至誠堂

82 ↓ 林知己夫

米山 俊直 67 ↓ 我妻 洋

71 『日本の社会における「基礎的概念群」』『季刊



人類学』二一三、7月（浜口恵俊編『日本人の  
間柄』〈現代のエスプリ178〉）

76 『日本人の仲間意識』〈現代新書47〉

我妻 洋、米山俊直 67 『偏見の構造——日本人の人種観』〈N  
HKブックス〉

和歌森 太郎 66 『義経と日本人』〈現代新書〉

72 『神ごとの中の日本人』弘文堂

73 『天皇制の歴史心理』弘文堂

75 『花と日本人』草月出版（82角川文庫）

和辻 哲郎 51 『埋もれた日本』新潮社（80新潮文庫）

52 『日本倫理想史』（上・下）岩波書店

△編者・論集・シンポジウム▽

飯島 宗一、鯖田豊之編 73 『日本人とは何か』日経新聞社

石田 一良 79 ↓古川哲史編

伊藤友信、小沢文四郎編 78 『日本人の自然思想』八千代出版

上田 篤、多田道太郎、中岡篤介編 83 『空間の原型——すまゐ  
における聖の比較文化』筑摩書房

白井吉見編 59 『日本人』〈現代教養全集7〉筑摩書房

59 『日本文化の反省』〈現代教養全集15〉筑摩書房

71 『日本人論』〈現代日本記録全集74〉筑摩書房

梅棹忠夫他編 77 『新・日本人のころ』〈朝日選書99〉

梅棹 忠夫 68 ↓宮本常一

梅棹忠夫、多田道太郎編 72 『論集・日本文化』全3 〈現代新書  
278 280 283〉（1日本文化の構造、2日本文化と世  
界、3日本文化の表情）

越前喜六、斎藤いつ子編 79 『日本人とキリスト教』女子パウロ  
会

小沢文四郎 78 ↓伊藤友信

数江教一編 58 『世界倫理想史叢書6 日本篇』学陽書房

勝部真長編 69 『日本思想の構造』〈現代のエスプリ39〉

加藤秀俊編 66 『日本文化論』〈近代日本の名著13〉徳間書店

加藤 秀俊 ↓宮本常一

門脇佳吉、鶴見和子編 83 『シンポジウム日本人の宗教心』講談  
社

神島二郎編 72 ↓和歌森太郎

74 『近代日本の精神構造』評論社

80 ↓木村尚三郎

河北新報社編局編 75 『むらの日本人』勁草書房

木村尚三郎、神島二郎他編 80 『新・日本人論』講談社

木村敏他編 81 『日本人と「間」』講談社

共同通信社文化部編 73 『共同討議日本の風土』新人物往来社

久野 昭、宮川英二、田中日左夫、平野雅章 81 『日本の精神風  
土——生活世界の底を流れるもの』名著刊行会

久野 収編 74 『現代日本論』〈戦後日本思想大系15〉筑摩書房

公文俊平 79 ↓村上泰亮

小泉文夫編 70 『わらべうたの研究』〈上・下〉同研究刊行会

斎藤いつ子 79 ↓越前喜六

佐々木保行編 80 『日本の子殺しの研究』高文堂出版

佐藤誠三郎 79 ↓村上泰亮

佐橋 滋編 80 『日本人論の検証——現代日本社会研究』誠文

堂新光社

鯖田豊之 73 ↓飯島宗一

下出積与編 80 『日本における倫理と宗教』吉川弘文館

宗教思想研究会編 72 『日本人の生死観』大蔵出版

80 『日本の宗教心の展開』大明堂

鈴木範久 76 ↓松本 滋

祖父江孝男編 69 『日本人——その構造分析』現代のエスプリ

38 ↓

73 『日本人はどう変わったか』現代のエスプリ

68 ↓

80 『日本人の構造』現代のエスプリ別冊

多田道太郎 72 ↓梅棹忠夫

83 ↓上田 篤

田中日左夫 81 ↓久野 昭

田村芳朗、源了円編 77 『日本における生と死の思想——日本人の精神史入門』有斐閣選書

の精神史入門

綱淵謙錠編 78 『対談・日本人の心性』TBSブリタニカ

鶴見 和子 83 ↓門脇佳吉

東北大学日本文化研究所編 81 『神観念の比較文化論的研究』講

談社

中岡篤介 83 ↓上田 篤

日本文化フォーラム 58 『日本文化の伝統と変遷』新潮社

日本民族学会第6回研究大会準備委員会編 67 『シンポジウム祖

先観と社会構造』日本民族学会

浜口恵俊編 82 『日本人の間柄』現代のエスプリ178 ↓

平野雅章編 81 ↓久野 昭

福島正夫編 76 『近代日本の家族観』家族—政策と法—7 ↓

東大出版会

古川哲史他編 55 『日本人の道德的心性』河出書房

60 ↓和辻哲郎(77)

古川哲史、石田一良編 77 『日本人論』日本思想史講座別巻1 ↓

雄山閣

増田四郎編 70 『西洋と日本——比較文明的考察』中公文

書

松方三郎 68 ↓宮本常一

松本 滋、鈴木範久、スインゲドウ 76 『菊と刀と十字架と』日

本基督教団出版局

ミサワホーム総合研究所編 83 『日本人——住まいの文化誌』ミ

サワホーム総合研究所

源 了 円 77 ↓田村芳朗

宮川英二 81 ↓久野 昭

宮本常一、松方三郎、梅棹忠夫、加藤秀俊 68 『座談会・村の作

法・都市の作法』『エナジー』X2

村上泰亮、公文俊平、佐藤誠三郎 79 『文明としてのイエ社会』

中央公論社

柳田国男編 54 『日本人』毎日新聞社

山本七平編 77 『対談日本人と聖書』TBSブリタニカ

和歌森太郎、神島二郎他 72 『日本人の再発見』弘文堂

和辻哲郎編 60 『日本の文化』毎日新聞社(和辻、古川哲史編

77 改版)

(特集・講座等)

50 『民族学研究』〈特集・ベネディクト『菊と刀』の与えるもの〉5月号、14—4。(川島武宜「評価と批判」、南博「社会心理学の立場から」、有賀喜左衛門「日本社会構造における階層構制の問題」、和辻哲郎「科学的価値に対する疑問」、柳田国男「尋常の人生観」)

76・77 『講座・比較文化』研究社。(1日本列島の文化史、2アジアと日本人、3西ヨーロッパと日本人、4日本人の生活、5日本人の技術、6日本人の社会、7日本人の価値観、8比較文化への展望)

82 『サイコロジ』〈特集・日本人の心理構造〉No.22、1月号。サイエンス社

82 『日本人——その思想と行動』〈九州大学公開講座3〉九州大学出版会

83 『季刊生活文化史』〈特集・日本の家——日本人のこころ〉No.1、11月。雄山閣

### III 古代・神話・起源

〈著書・論文〉

青木紀元 70 『日本神話の基礎的研究』風間書院

荒川 紘 81 『古代日本人の宇宙観』海鳴社

池田次郎 82 『日本人の起源』〈現代新書668〉

石母田正 73 『日本古代国家論』(第一部・第二部)岩波書店

上田正昭 70 『日本神話』〈岩波新書〉

73 『日本文化の原点』講談社

上野佳也 83 『縄文人のこころ』日本書籍

碓井益雄 82 『靈魂の博物誌——原始生命観の体系』河出書房

梅沢伊勢三 62・76 『記紀批判』(正・続)創文社

江上波夫 67 『騎馬民族国家——日本古代史へのアプローチ』〈中公新書〉

大久野喜一郎 66 『古代文学の源流』桜楓社

71 『古代文学の構想——万葉集の世界』武蔵野書院

78 『古代文学の伝統』笠間書院

大野 晋 57 『日本語の起源』〈岩波新書〉

74 『日本語をさかのぼる』〈岩波新書〉

80 『日本語の成立』〈日本語の世界1〉中央公論社

81 『日本語とタミル語』新潮社

大林太良 65 『日本神話の起源』〈角川新書〉(73角川選書)

74 ↓村山七郎

75 『日本神話の構造』弘文堂

岡 正雄 58 『日本文化の基礎構造』『日本民俗大系』2

平凡社

79 『異人その他——日本民族II文化の源流と日本

国家の形成』言叢社

岡田精司 70 『古代主権の祭祀と神話』塙書房

金関丈夫 76 『日本民族の起源』法政大出版局

金子武雄 68 『上代の呪的信仰』新塔社

川崎庸之 52 『記紀万葉の世界』お茶の水書房

川本崇雄 80 『日本語の源流』〈現代新書594〉  
小林行雄 72 『民族の起源』〈増補新書〉  
西郷信綱 64 『詩の発生』〈増補版〉未來社

67 『古事記の世界』〈岩波新書〉

72 『古代人と夢』〈平凡選書〉

73 『古事記研究』未來社

75・76 『古事記注釈』1・2 平凡社

齋藤 忠 77 『神話と国家——古代論集』〈平凡選書〉

坂本太郎 79 『日本人はどこから来たか』〈學術文庫444〉

72 『古典と歴史』「飛鳥・奈良時代の倫理思想」

吉川弘文館

桜井徳太郎 77 『靈魂觀の系譜——歴史民俗学の視点』筑摩書

房

下出積与 68 『神仙思想』吉川弘文館

田中 元 72 『日本古代の神祇と道教』吉川弘文館

75 『古代日本人の時間意識』吉川弘文館

79 『敗れし者への共感』吉川弘文館

玉腰芳夫 80 『古代日本の住まい』ナカニシヤ出版

次田真幸 73 『日本神話の構成』明治書院

津田左右吉 46・50 『日本古典の研究』(上・下) 岩波書店

土居光知 60 『古代伝説と文学』岩波書店(77土居著作集2)

豊田国夫 80 『日本人の言霊思想』〈學術文庫〉

永藤 靖 79 『古代日本文学と時間意識』未來社

西田長男、三橋 健 83 『神々の原影』平河出版

服部四郎 59 『日本語の系統』岩波書店

原田敏明 48 『日本古代宗教』中央公論社(72改訂増補)

樋口隆康 71 『日本人はどこから来たか』〈現代新書265〉

平野仁啓 66・76 『古代日本人の精神構造』(正・続) 未來社

82 『日本の神々』〈現代新書664〉

広畑輔雄 77 『記紀神話研究——その成立における中国思想の役割』風間書院

藤井貞和 78 『古日本文学発生論』思潮社

本多正久 78 ↓ 安本美典

益田勝美 68 『火山列島の思想』筑摩書房

72 『記紀歌謠』筑摩書房

76 『秘儀の島』筑摩書房

松前 健 60 『日本神話の新研究』桜楓社

70 『日本神話の形成』塙書房

松村武雄 54・58 『日本神話の研究』(全4) 培風館

三品彰英 48 『神話と文化境域』大八洲出版(71三品論文集

3、平凡社)

三谷栄一 74 『日本神話の基盤』塙書房

三橋 健 83 ↓ 西田長男

村山七郎、大林太良 74 『日本語の起源』弘文堂

村山七郎 81 『日本語の起源をめぐる論争』三一書房

守屋俊彦 73 『記紀神話論考』雄山閣

安本美典、本多正久 78 『日本語の誕生』大修館

山上伊豆母 69 『神話の原像』岩崎美術社

77 『日本芸能の起源』大和書房

山口 敏 72 『日本人の起源』『日本人の起源と進化』社会

保険新報社

湯浅泰雄 72 『神々の誕生——日本神話の思想史的研究』以

文社

80 『古代人の精神世界』ミネルヴァ書房

83 ↓ IV河合隼雄

吉井 巖 67・76 『天皇の系譜と神話』(1・2) 塙書房

吉田敦彦 74 『日本神話と印欧神話——構造論的分析の試

み』弘文堂

74 『ギリシア神話と日本神話——比較神話学の試

み1』みすず書房

76 『日本神話の源流』〈現代新書420〉

76 『小ざ子とハイスウェン——比較神話学の試み

2』みすず書房

79 『ヤマトタケルと大國主——比較神話学の試み

3』みすず書房

80 『アマテラスの原像——スキュタイ神話と日本

神話』青土社

82 『神話と近親相姦』青土社

83 ↓ IV河合隼雄

吉村貞司 75 『日本神話の原像』〈読売選書〉(80 吉村著作集

8、泰流社)

吉本隆明 77 『初期歌謡論』河出書房

△編著・論集・シンポジウム↓

池田次郎編 78 『人類学講座6 日本人II』雄山閣

池田次郎、大野晋編 73 『論集日本文化の起源5 日本人種論・

言語学』平凡社

石田英一郎、岡 正雄、江上波夫、八幡一郎 58 『日本民族の起

源』平凡社

石田英一郎編 66 『シンポジウム日本国家の起源』角川書店(72

角川文庫)

伊藤清司、大林太良編 72・75 『シンポジウム日本の神話』(五

冊) 学生社(1 国生み神話、2 高天原神話、3

出雲神話、4 日向神話、5 日本神話の原像)

77 『日本神話研究』(三卷) 学生社(1 日本神話

の世界、2 国生み神話・高天原神話、3 出雲神

話、日向神話)

71 『論集日本文化の起源2 日本史』平凡社

上田正昭編

77 『古事記』社会思想社

上山平春編

書↓

67 『照葉樹林文化——日本文化の深層』〈中公新

書〉

80 ↓ 江上波夫

梅原 猛 80 ↓ 江上波夫

江上波夫 58 ↓ 石田英一郎

(未) 『論集日本文化の起源4 民族学II』平凡社

江上波夫、梅原猛、上山春平、中根千枝 80 『日本人とは何か

——民族の起源を求めて』小学館

大野 晋編 73 ↓ 池田次郎

80 『日本語の系統』〈現代のエスプリ・別冊〉

大林太良編 73 ↓ 伊藤清司

74 『日本神話の比較研究』法政大出版局

岡 正雄 58 ↓石田英一郎

岡正雄(記念) 70 『民族学からみた日本——岡正雄教授古稀記念論文集』河出書房

論文集 河出書房

小方保編 81 『人類学講座5 日本人I』雄山閣

金達寿、谷川健一編 75 『討論日本文化の源流を求めて』筑摩書房

房

小林行雄編 71 『論集日本文化の起源1考古学』平凡社

谷川健一 75 ↓金達寿

中根千枝 80 ↓江上波夫

西島定生編 64 『日本国家の起源』(現代のユスブリ2)至文堂

八幡一郎 58 ↓石田英一郎

松本信広編 71 『論集日本文化の起源3民族学I』平凡社

吉田敦彦編 75 『比較神話学の現在——デヌメジルとその影響』朝日出版

(特集・講座等)

70 『日本神話』(日本文学研究資料叢書)有精堂

76 ↓78 『講座・日本の神話』(12冊)有精堂(1日本神話研究の方法、2日本神話の成立と構造、3天地開闢と国生み神話、4高

天原神話、5出雲神話、6古代の英雄、7日本神話と祭祀、

8日本神話と氏族、9日本神話と朝鮮、10日本神話と琉球、11

日本神話の比較研究、12日本神話と考古学)

80 『原始日本文明の系譜』(東アジアにおける古代史講座1)学生社

81 『シンポジウム・骨から見た日本人の起源』『季刊人類学』12、

1

IV 精神医学・臨床心理

〈著書・論文〉

藍沢鎮雄 75 『日本文化と精神構造』太陽出版

伊丹十三 80 ↓佐々木孝次

稲村博 78 『子殺し——その精神病理』誠信書房

岩井寛 75 『川端康成』(ハトグラフィ双書10)金剛出版

岩井寛 75 『芥川竜之介』(ハトグラフィ双書2)金剛出版

岩井寛 83 『日本の精神療法的人間学』『現代思想』11月、

卷11 ↓11

内沼幸雄 77 『対人恐怖の人間学——恥・罪・善悪の彼岸』弘文堂

弘文堂

王丸勇 82 『羞恥の構造』紀伊国屋書店

大原健士郎 83 『精神医学からみた日本の英雄』牧野出版

65 『日本の自殺——孤独と不安の解明』誠信書房

73 『心中考——愛と死の病理』太陽出版

小此木啓吾 78 『モラトリアム人間の時代』中公叢書(81中公

文庫)

79 『モラトリアム人間の心理構造』中央公論社

86 『日本人の阿闍世コンプレックス』(中公文庫)

小田晋 74 『文化と精神医学』金剛出版

80 『日本の狂気誌』思索社

梶谷哲男 71 『三島由起夫』(ハトグラフィ双書7)金剛出版

78 ↓春原千秋

79 ↓ 春原千秋

鹿野達男 75 『志賀直哉』(ハトグラフィ双書9) 金剛出版

河合隼雄 67 『東洋と西洋の問題』、『ユング心理学入門』培風館

76 『母性社会日本の病理』(中公叢書)

82 『中空構造日本の深層』(中公叢書)

82 『昔話と日本人の心』岩波書店

河合隼雄、湯浅泰雄、吉田敦彦 83 『日本神話の思想——スサノヲ論』ミネルヴラ書房

岸田 秀 77 『ものぐさ精神分析』青土社(82中公文庫)

78 『続・ものぐさ精神分析』青土社(82『二番煎じ、ものぐさ精神分析』中公文庫)

80 ↓ I山本七平

北山 修 82 『悲劇の発生論——精神分析の理解のために』金剛出版

木村 敏 70 『自覚の精神病理』紀伊国屋書店

72 『人と人との間——精神病理学的日本論』弘文堂

小西輝夫 80 『精神医学からみた日本の高僧』牧野出版

高良武久 53 ↓ 森田正馬

佐々木孝次 80 『快の打ち出の小槌——日本人の精神分析講義』レクチャーブックス(朝日出版社)

佐々木時雄 81 『ナルシズムと日本人——精神分析の視点から』弘文堂

高橋 徹 76 『対人恐怖——相互伝達の分析』医学書院

立川昭二 76 『日本人の病歴』(中公新書)

千谷七郎 63 『漱石の病跡』勁草書房

土居健郎 69 『漱石の心的世界』至文堂(82角川文庫、83角川選書)

土居健郎 71 『甘え』の構造』弘文堂

75 『甘え』雑稿』弘文堂

土居健郎、大塚久雄、川島武宜 76 『甘え』と社会科学』弘文堂

中井久夫 82 『分裂病と人類』(UP選書) 東大出版会

中野嘉一 77 『古賀春江』(ハトグラフィ双書11) 金剛出版

春原千秋、梶谷哲男 74 『明治・大正の作家』(ハトグラフィ双書・別巻) 金剛出版

75 『昭和の作家』(ハトグラフィ双書・別巻) 金剛出版

出版

78 『精神医学からみた作家と作品』牧野出版

79 『精神医学からみた現代作家』毎日新聞社

平井富雄 81 『日本の知性と心理』三笠書房

福島 章 76 『官沢賢治』(ハトグラフィ双書3) 金剛出版

78 『天才の精神分析——パトグラフィの冒険』新曜社

80 『愛と性と死——精神分析的作家論』小学館

町沢静夫 79 『高村光太郎』(ハトグラフィ双書12) 金剛出版

三島 寛 70 『辻潤』(ハトグラフィ双書4) 金剛出版

森田正馬 74、75 『森田療法理論』(総論1~3) 白楊社

森田正馬、高良武久 53 『赤面恐怖の治し方』白楊社

吉村博任 70 『泉鏡花』(ハトグラフィ双書5) 金剛出版

〈編著・論集〉

内村祐之、吉益脩夫(監修) 72 『日本の精神鑑定』みず書房  
大原健士郎、岡堂哲雄編 75 『日本人の精神病理』〈現代のエス  
プリ別冊、現代の異常性〉

岡堂哲雄 75 ↓大原健士郎

荻野恒一編 78 『文化と精神病理』弘文堂

加賀乙彦編 71 『作家の病跡』〈現代のエスプリ51〉

加藤正明編 74 ↓田多井吉之介

金子準二編著 75 『日本狐憑史資料集成』牧野出版

金子準二、田辺子男、小峯和茂編著 82 『改訂増補日本精神医学  
年表』牧野出版

小峯和茂 82 ↓金子準二

田多井吉之介、加藤正明編 74 『日本の自殺を考える』医学書院

田辺子男 82 ↓金子準二

西川瀆八他編 75 『日本の飲酒を考える』医学書院

日本精神衛生会編 72〜83 『日本人の心』『心と社会』

宮本忠雄編 74 『診断・日本人』日本評論社

吉益脩夫 72 ↓内村祐之

V 戦前(1868〜1945)の文献

内村鑑三 894, *Japan and Japanese* (08, *Representative*

*Men of Japan*, 41 『代表的日本人』鈴木俊郎

訳、岩波文庫)

894 『地理学考』(897改版、『地人論』、42岩波文庫)

岡倉天心 01〜『東洋の覚醒』(83東洋文庫)

03, *The Ideals of the East with Special Refer-*

*ence to the Art of Japan* 『東洋の理想』83

東洋文庫)

04, *The Awakening of Japan* 『日本の覚醒』

83 東洋文庫)

折口信夫 29〜30 『古代研究』(民俗学篇1、2、国文学篇)大

岡山書店

九鬼周造 30 『いざ』の構造』岩波書店(79岩波文庫)

37 『日本的性格』『思想』2月『人間と実存』、

81九鬼全集3、岩波書店)

三枝博音 37 『日本の思想文化』(増補改訂、第一書房。78

中公文庫)

桜井庄太郎 38 『封建社会意識論』

志賀重昂 894 『日本風景論』政教社(37岩波文庫、76学術文

庫)

城戸幡太郎 30 『古代日本人の世界観』岩波書店

鈴木大拙 35 『禅と日本人の気質』日本文化協会

44 『日本の靈性』大東出版(72岩波文庫)

高木市之助 41 『吉野の鮎——記紀万葉雜放』岩波書店(76高

木全集1、講談社)

高木敏雄 24 『日本神話伝説の研究』(2冊)岡書院(73〜74

東洋文庫)

高山岩男 41 『文化類型学研究』弘文堂

寺田寅彦 35 『日本人の自然観』『講座・東洋思潮』(56寺田

全集10、岩波書店)



戸坂 潤 35 『日本イデオロギー論』(36増補版) 白楊社 77  
岩波文庫)

中村 正直 875 『人民ノ性質ヲ改造スル説』『明六雜誌』3月、  
30号

夏目漱石 11 『現代日本の開化』(78『私の個人主義』) 学術文  
庫 271)

西 周 75 『国民気風論』『明六雜誌』3月、32号

西田幾太郎 40 『日本文化の問題』(岩波新書)

新渡戸稲造 899, *Bushido, The Soul of Japan* (38『武士道』  
矢内原忠雄訳 岩波文庫)

11, *The Japanese Nation* (日本国民 (70新渡戸  
全集13, 教文館)

29, *Japanese Traits and Foreign Influences* (日  
本人の特質と外国の影響) (70新渡戸全集14, 教  
文館)

29, *Two Exotic Currents in Japanese Civilization* (日本文明における外来の二潮流) (70新渡  
戸全集15, 教文館)

31, *Japan: Some Phases of her Problems and  
Development* (日本その問題と発展の諸局面)  
(70新渡戸全集14, 教文館)

36, *Lectures on Japan* (日本文化の講義) 研究社  
(70新渡戸全集15, 教文館)

野田義夫 14 『日本国民性の研究』(教育新潮叢書)

芳賀矢一 07 『国民性十論』(38, 77富山房百科文庫)

長谷川如是閑 21 『日本人』文会堂書店 (39富山房百科文庫)

肥後和男 38 『日本神話研究』河出書房  
福沢諭吉 875 『文明論之概略』(岩波文庫)

松本信広 31 『日本神話の研究』同文館 (71東洋文庫)

松村武雄 34 『民族性と神話』培風館  
三宅雪嶺 881 『真善美日本人・偽悪醜日本人』政教社 (77富  
山房百科文庫)

吉川幸次郎 41 『支那人の日本観と日本人の支那観』(44『支  
那人の古典とその生活』岩波書店)

和辻哲郎 20 『日本古代文化』(39改版) 岩波書店  
25 35 『日本精神史研究』(正・続) 岩波書店

35 『風土』岩波書店 (79岩波文庫)  
44 『日本の臣道・アメリカの国民性』筑摩書房  
(特集・講座等)

21 『解放』4月(日本国民性の研究)号 (佐野学編22『日本国民  
性の研究』大鑑閣)

34 『思想』5月特輯号(日本精神) 岩波書店  
(ひろすま まこと・兼任・倫理学、日本思想史)